

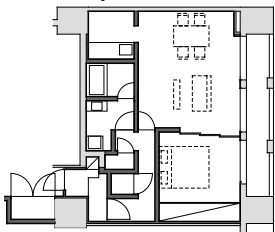
アメックス赤坂門タワー 2F リニューアルプロジェクト

所在地	福岡県福岡市中央区舞鶴
構造・規模	SRC造19階建
用途	賃貸集合住宅
改修面積	66.12㎡ (20.00T)
竣工	2012年2月
施工	株式会社村上建総

場所は福岡市の中心地「赤坂」にある。
その一角にある大規模な賃貸集合住宅の2階にあった集会スペースを賃貸住戸へとリニューアルする計画を依頼された。
設計にあたっては、通常「1LDK」と呼ばれ、パーティションを収納することでワンスペースにもなる、一般のやや大雑把な計画をまずは見つめ直した。
様々なスタディを重ねた結果、キッチン+バスルームの設備ユニットを住戸の中央に置き、逆コの字型の、細長いワンスペースを設定する着想を得た。
ワンスペースながら、設備ユニットがもたらす「視線の物陰」が「回遊性」を伴いつつも独特の奥行きをもたらし、SOHOにも対応可能なパブリックとプライベートの分節を柔軟に設定する。
さらにこの物陰が、半ば現象的に「視線の広がり」という機能をもたらし、居室の幅を拡張する目的で取り入れた斜めの軸線、特殊な素材を用いての天井面の映り込みが、さらに「視線の広がり」という機能を展開していく。
南面にあって陽当たりが良く伸びやかな形態のバルコニーに植栽を置いたりといった、居住者の行為も天井面に映り込んで、居住者オリジナルの室内風景が視線の広がりとともに形成される。
キッチンには着脱式パーティションを設置することで、オープン/クローズどちらも可能な、より高度な自由度とSOHO対応を実現した。
バスルームはガラス張りとする事で、直接外部の視線にさらされることなく長く快適に過ごすことのできる「視線の広がり」を確保した。

一般案

通常の1LDK
見通しのない窮屈な水廻
大雑把なフレキシビリティ

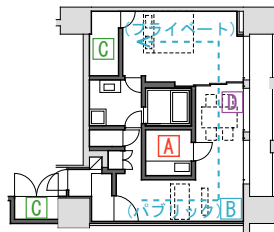


A 水廻を住戸の中心に配置
→逆コの字型の平面形態を持つ居室

B 逆コの字型の細長い居室は使いやすい
→独特の奥行きと空間の分節を設定
→スペースが余らない、効果的な家具レイアウト

プロセス案

キッチン+バスルームを中央に設置
独自性と機能性の融合



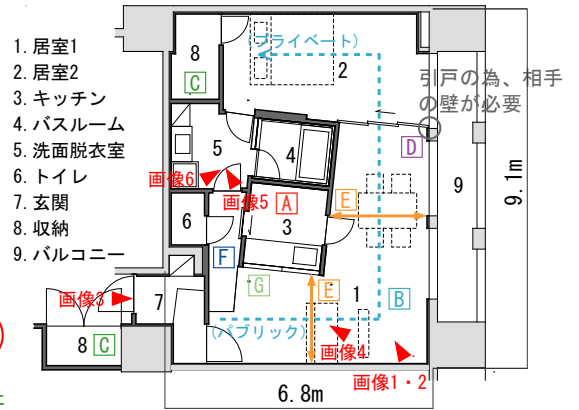
C 玄関前+ウォークイン、二つの充実した収納空間

D 半透明パーティションを設置
→広がり損なわずに空間を分節

E キッチン西側・南側の居室幅を拡張
→SOHO等の多様な使用方法を可能に

最終案

「斜め」の軸線導入による居室幅の拡張
独自性・機能性のさらなる向上



F 廊下面積減。水廻面積減
→居室面積さらに増

G キッチン西側壁面に着脱式パーティションを設置
→オープン/クローズを選択可能に



▲画像1 居室全景 (ワンスペース+クローズキッチン)



▲画像4 居室から眺めた廊下入口とキッチン



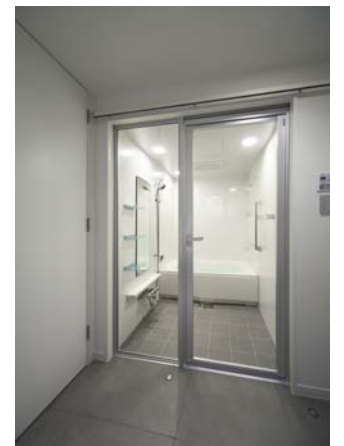
▲画像2 居室全景 (1LDK+オープンキッチン)



▲画像3 玄関



▲画像5 洗面脱衣室



▲画像6 バスルーム